

学校施設や生涯学習施設の 復旧工事が進みました。



震災直後の明海小学校
液状化により校舎周りに土砂が噴出するなど
大きな被害を受けました。



現在の明海小学校(平成25年1月撮影)
工事が完了し、きれいな学校に戻りました。



震災直後の見明川中学校
液状化により校舎周りに大きな段差が生じました。



現在の見明川中学校(平成25年1月撮影)
段差もなくなり、周りに花壇ができました。



見明川中学校校庭の地盤改良工事の様子

ままでに終わり、従来どおり利用されています。

一方、生涯学習施設では、高洲球技場や美浜運動公園少年野球場のほか、運動公園の新スポーツコートやテニスコートなどは既に利用を再開しており、現在利用ができない中央公園野球場も平成25年4月に再開できるよう工事が進められています。公民館では、被災した3公民館の復旧工事が平成24年10月までに終わり、従来どおり利用されています。

東日本大震災から、まもなく2年が過ぎようとしています。本市においても中町地域や新町地域を中心に日本最大規模の液状化が発生し、小・中学校や幼稚園の学校施設や公民館、スポーツ施設など社会教育施設でも甚大な被害を受けました。教育委員会では、被害を受けた学校施設や社会教育施設が一日も早く復旧できるように、関係部局などと一緒に、計画的に復旧工事を進めています。

学校施設では、幼稚園や小学校の工事が完了し園庭や校庭なども利用できる状況となりました。また、現在、今年度末の完了を目指し、浦安・見明川・入船・富岡・美浜・日の出中学校の6校で地盤改良工事を含むグラウンドの整備工事が行われています。